

小豆島の「石の文化」

小豆島町「世界遺産化」対策室 川宿田好見

瀬戸内火山活動で誕生した小豆島では、豊かな資源としての石材とともに歩んできた歴史を知ることができます。大坂城石垣のための採石場跡や、猪鹿垣、棚田、棧敷などはその代表ともいえます。海に囲まれた小豆島では、潮と風を巧みに読み、船を操る海の民の活躍により、他地域との海を使った大交流が行なわれ様々な産業が花開いていきます。海の大交流の中で、大坂城の築城時には、大量の石を切り出し、大坂まで運ぶという一大事業の舞台となりました。

小豆島町では、石と人々との関わりについて学術的に研究するため、石に関するシンポジウムや大学と連携した調査活動を重ねてきました。また石丁場の残石の三次元記録やそのデータを用いたレプリカの作成などにも挑戦しています。

今後も、小豆島の石の文化に関する調査研究を重ね、大切なこの文化が後世に受け継がれていくよう、努めていきたいと考えています。